

データチェックの機能追加について

平素は弊社サービスをご利用いただき、厚く御礼申し上げます。

6月25日に提供されたプログラムにて、データチェックの「薬剤と病名」「診療行為と病名」の項目に新たな機能が追加されました。追加された機能は大きく分けて以下の二つです。

1. 日医総研から提供される「適応病名マスタ」の追加
2. 「薬剤と病名」「診療行為と病名」マスタについて「適応病名マスタ参照区分」の追加

其々の内容については下記のとおりです。

1. 日医総研から提供される「適応病名マスタ」の追加

追加された適応病名マスタは下記（１）～（６）の採択基準があります。

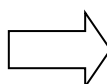
- （１）適応病名が『１対１』から『１対ｎ』の採択へ変更

これまでの『１対１』では、効能・効果に記載してある適応病名１つに対し、一番適切な１つの傷病名が採択されていました。

これからの『１対ｎ』では、効能・効果に記載してある適応病名１つに対し、効能・効果の対象となる傷病名を採択基準に基づき複数採択されるようになりました。

<例 アダラートL錠10mg>

1対1 (これまでの適応病名マスタ)
本態性高血圧症
腎性高血圧症
狭心症



1対n (これからの適応病名マスタ)
本態性高血圧症、高血圧症、妊娠・分娩・産褥の既存の本態性高血圧症
腎性高血圧症、腎血管性高血圧症、腎実質性高血圧症
狭心症、夜間狭心症、労作性狭心症、狭心症3枝病変、安定狭心症、労作時兼安静時狭心症、微小血管性狭心症、安静時狭心症、冠攣縮性狭心症、異型狭心症、不安定狭心症、増悪労作型狭心症、初発労作型狭心症

(2) 薬理作用を重視

効能・効果の病名だけでなく、薬剤本来の薬理作用から判断し、適応病名を採択しています。

(3) 臨床成績を確認

薬剤の臨床試験での対象病名（添付文書の臨床成績欄に記載されている場合）を確認し、採択しています。

(4) 適応外、公知申請も採用

審査情報提供事例（いわゆる適応外）で情報提供されたものについても、採択しています。

(5) 禁忌病名は含みません

適応症の範ちゅうであっても禁忌に該当する場合は採択していません。

<例 ニューロタン錠 25mg>

■効能・効果

①高血圧症

②高血圧・蛋白尿を伴う2型糖尿病における糖尿病性腎症

■禁忌

①本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

②妊婦・妊娠している可能性の婦人など

※「高血圧症」の病名であっても妊婦には禁忌のため「妊娠高血圧症」のように「妊娠」といった接頭語を含む「高血圧症」の病名は、適応病名から除外されています。

(6) 採択除外製剤について

①適切な傷病名が存在していない下記の製剤は採択していません。

●消毒薬

●造影剤など、診断用のみで使用する製剤

●透析用・手術用など、処置・手術と関連して使用される製剤

●生薬・芳香剤など、調剤用の製材

●その他の適切な傷病名がない製剤

②一般名処方用の品目に関しては、効能効果が確定できない場合を除き、採択しています。

③多くの適応症のあるステロイド剤は、採択していません（今年度中に1対1で適応病名マスタが採択される予定）。

2. 「薬剤と病名」「診療行為と病名」マスタについて「適応病名マスタ参照区分」の追加

2-1. 「薬剤と病名」と「診療行為と病名」のチェックマスタ登録画面

マスタ登録の「103 チェックマスタ」設定画面にて「適応病名マスタからの直接データチェック」を行うか否かの設定が可能となりました (①)。

(X04)チェックマスタ設定-適用コード設定(病名) - 広島医院(共用) [ormaster]

1 薬剤と病名 621925801 クラビット錠500mg (レボフロキサシンとして) 00000000 ~ 99999999

① 適応病名マスタからの直接データチェック 9 システム管理の設定に従う【行う】

番号	病名	一致	疑い
③			

病名番号: []

病名コード: []

病名: []

一致条件: 1 部分一致

補足コメント (): [] 一致条件: []

疑い病名: 0 システム管理の設定に従う【認めない(適応病名としない)】

グループ: 0 指定なし

病名: []

一致条件: 1 部分一致 疑い病名: 0 システム管理の設定に従う【]

番号 コード 病名

病名追加 例外薬剤 病名削除 複写

戻る クリア 削除 入力CD検索 入外指定 選択解除 前頁 次頁 印刷 確定

選択項目は下記のとおりです。

- 0 行わない
- 1 行う
- 9 システム管理の設定に従う【初期値】

『0 行わない』または『1 行う』が設定された場合、システム管理マスタ「1101 データチェック機能情報2」の設定にかかわらず、こちらの設定に従い動作します。

「適応病名マスタからの直接データチェック」欄を『1 行う』、または、システム管理「1101 データチェック機能情報2」の「適応病名マスタからの直接データチェック」欄を『1 行う』と設定した場合、右側のコラムリストに傷病名マスタが表示されます (②)。

システム管理「1101 データチェック機能情報2」、または、チェックマスタの「適応病名マスタからの直接データチェック」欄を『9 システム管理の設定に従う【行う】』と設定することにより、左側のコラムリスト (③) に傷病名マスタが表示されていない場合でも、「薬剤と病名」のデータチェックを行うことが可能となりました。

また、適応病名マスタがないものは下図のように右側のコラムリストに『該当なし』と表示されます。

番号	病名	一致	疑い
00000000	9 システム管理の設定に従う【行う】	該当なし	

医療機関さまで作成されているチェックマスタと併せてこの設定を行っていただくことで、より強固なチェックがかけられるようになりました。

2-2. システム管理マスタ「1101 データチェック機能情報2」の設定について

「91 マスタ登録」より「101 システム管理マスタ」を押下し、「管理コード」欄から『1101 データチェック機能情報2』を選択、有効年月日を『00000000』～『99999999』と入力し、「F12 確定」を行います。

番号	有効開始年月日	有効終了年月日
001	00000000	99999999

設定1の「適応病名マスタからの直接データチェック」欄の「薬剤と病名」及び「診療行為と病名」の初期値は其々『0 行わない』となっているので『1 行う』へ変更し、「F12 確定」を行います。

(W60)システム管理情報-データチェック機能情報2 - 広島医院(共用) [ormaster]

00000000 ~ 99999999

設定1 設定2

<公費負担者番号・受給者番号>
生活保護・残留邦人等の受給者番号抜け 1 チェックする

<患者病名>
診療科別のチェック 2 しない 主病名チェック 2 しない 疑い病名チェック期間 1 ヶ月 急性病名チェック期間 1 1 ヶ月
診療開始日と実日数の比較チェック 1 チェックする

<チェックマスタ-適応病名チェック>

チェックマスタ\患者病名	マスタ準拠傷病名		未コード化傷病名	
	コード	名称	名称	
マスタ準拠傷病名	コード	○	-	
	名称	-	○	○ : チェックする
未コード化傷病名	名称	-	○	× : チェックしない

マスタ準拠傷病名 (≠0000999) / 未コード化傷病名 (=0000999)

過月の転帰済適応病名 1 チェックする

適応病名マスタからの直接データチェック

薬剤と病名 0 行わない

診療行為と病名 0 行わない

<薬剤と病名及び病名と薬剤>

検査、処置薬剤 1 チェックする 手術薬剤 1 チェックする 麻酔薬剤 1 チェックする

処方済みの薬剤 (2 1 3, 2 2 3 3) 1 チェックする 疑い病名の扱い 2 適応病名としない

<薬剤と併用禁忌>

相互作用マスタ 1 参照

<診療行為の併用算定>

警告エラー 1 チェックする

電子点数表マスタ 1 参照 2 特例条件があるものは参照しない

戻る クリア 印刷 タブ切替 確定

0 行わない

0 行わない

1 行う

2 チェックマスタにない薬剤のみ行う

※なお、「適応病名マスタからの直接データチェック」欄の「診療行為と病名」を『1 行う』として設定した場合、検査（生化学検査など）の適応病名が患者に登録されていないと、データチェック時にエラーとなります。

検査の病名漏れをチェックしたい場合、上記の「診療行為と病名」を『0 行わない』として設定し、必要な検査のみ2-1のチェックマスタ登録画面の①を『1 行う』として設定した上で、データチェックを行われることをお勧めいたします。

ご不明な点等ございましたら、日レセサポート窓口までお問い合わせください。

以上